



岐阜北週報

5月

□ 題 字	谷田 育子	□ 会 長	谷田 育子	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	岡田 一二三	2012-2013
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	原尾 勝	No.1490
		会報委員長	小泉 宣昭	13.5.8発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第1489回例会 4/24(水) クラブアッセンブリー(6) 地区協議会報告 担当：会長エレクト、次期幹事	第1490回例会 5/8(水) 卓話(10) ユニホームの文化とその歴史 100万\$ 担当：久世会員、辻会員	第1491回例会 5/15(水) 卓話(11) 橋本めぐみ講師 100万\$ 担当：竹村会員、小泉会員

会長挨拶

先週には、手相のお話をしましたが、ご希望が有る様でしたので P-2 という事で少し続きをお話したいと思います。

先週はお金の線(財運線)のお話をしましたが、その隣の薬指の下に表れる線は、太陽線と言われていて、周りの人の引き立てや、援助が有って、地位や人気を得られる。という無形の財産を表します。又、芸術的なセンスや明るい性格なども意味し、手相では、最も喜ばれる線です。この太陽線は、運命線と表裏一体を成すものとして位置付けられています。運命線は努力して運を切り開いていく線であり、太陽線は、それがどれだけ報いられるかを表す線です。という事は、たとえ運命線が素晴らしい線であっても、太陽線がなければ、その努力が実らないという事になっています。逆に運命線が貧弱でも、太陽線がはっきりしていれば、十分に幸や成功を得る事が出来ます。又、運命線に出ている現在の成功は、親からの物を引き継いで得たものか、自分で切り開いて得たものかも観る事が出来ます。

全体と言える事は、全ての線が複雑に絡み合って、その人を表現しているもので、財運線が有れば、太陽線も有り、相互に支え合っこそ、一つの成功が有ると考えた方が良いかも知れません。

又、占いの中には、手相の他に、四柱推命、九星術、十二支占い、ホロスコープ、姓名判断など、その他、多くの占いが有り、その人となりを見ますが、不思議な事に、どの占いでその

会長挨拶 続き

人に辿り着いたとしても答えは、ほぼ、一致するのです。そんな事から、私達一人一人の人格を持つ人間は、宇宙の厳然たる節理の中で、それぞれの役目を持ち、従い、生かされているのではないかと思わざるを得ません。

そんな事から言えば、ロータリーのメンバーの方達は、素晴らしい人格の持ち主ばかりではないかと思っています。

出席報告

会員数：30名
出席数：23/30名
出席率：76.67%
欠席者：7名(出席免除0名 76.67%)

ニコニコBOX (敬称略)

谷田 育子：地区協議会出席、長良川清掃へのご協力有難うございました。
河村 訓陸：地区協議会お疲れ様でした。
片桐順一郎：4月18日ゴルフ参加出来ました。
山口 八郎：地区協議会の皆さんよろしく。
川崎 賢二：先日、北海道へ行って来ました。雪も降るくらい寒かったです。
安藤 重広：地区協議会出席の方お疲れ様でした。

委員会報告事項（敬称略）

2013/4/18 各務原CC

1位 片桐順一郎

2位 辻 博

3位 波多野光裕

ドラゴン 長野、永瀬

ニアピン 若山、辻、永瀬、

大波小波 片桐 バーディー 辻 ベスグロ 辻

幹事報告事項

各委員会の計画書の報告期限5月8日例会までに提出をお願いします。

I. G. M報告（第31期4回目）

平成25年4月18日（木）18時30分～
岐阜都ホテル

参加メンバー リーダー松野秀計

世話人小泉宣昭、R情報委員片桐順一郎、

川島明雄、小椋 功、谷田育子

テーマ

社会奉仕への積極参加

・若松学園 キャンプへの参加（夏）

・バザー（秋）

・クリスマスパーティー（冬）

今後も例会に取り入れて皆様が積極的に参加して頂ける機会を作る。

・献血 今回2名のみのため、各会社1～2名以上連れて献血したらどうか。

・長良川河畔清掃活動 年2回程度
建前的に参加しているだけなので、他の清掃活動を行ってはどうか？

但し、重労働なら参加は、激減すると思う。

・今後の社会奉仕活動について

ロータリーカップ（バレーボール）は、続けた方が良い。

・会員増強について

法人会に声を掛ける。



クラブアッセンブリー（6）

地区協議会報告

岐阜北ロータリークラブ

会長エレクト 原尾 勝

日時；平成25年4月21日（日）

場所；桑名市民会館

ホストクラブ；桑名西ロータリークラブ

◎RI会長エレクト ロン D. バートン氏

テーマ；“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

◎2630地区ガバナーエレクト 加賀 修氏

テーマ；“脚下照顧”

私は、ロータリーの為に何が出来るか

1. 例会は、ロータリーの原点

2. 親睦と職業奉仕

3. 本気になって実践を

◎情報部門（CLPについて）

服部芳樹 地区情報委員

1. 加賀ガバナーエレクトの「脚下照顧」は、「心理を外にはではなく、自己自身の内に求めよ。ロータリーの原点を見つめよう」と解説されています。これは、茶道の“利休百首”のひとつ・・・『稽古とは、一より習ひ十を知り 十よりかへる もとのその一』と相通ずるものを感じます。その一とは、「ロータリーの原点」を差し、新会員教育の一つであると考えます。即ちロータリーとは、一より学び十を知り、十よりかえる もとのその一 → 十までいったら元の原点に戻ってみよう！という事が必要だと加賀ガバナーエレクトの“脚下照顧”の中に述べられた事ではないかと思えます。

2. CLPについてですがこれは、組織を変える事ではない。心と形、機能と形態、理念と奉仕活動、これと一緒に考えてはいけない。心と形は違います。機能と形態も違います。同様に理念と奉仕活動も違います。これと一緒にしない。これがポイントです。

◎会員基盤増強維持部門

田中 稔子 地区研修委員

会員増強、会員維持は、ロータリーに入会した時から一人一人に課せられた義務である。委員会だけでやるのではなく皆でいいアイデアを出し合って工夫をしてどうしたら増強出来るか真剣に考え、実行する。会員増強成功の秘訣は、（ロータリーの友に書いてありましたが）増強に全員で取り組む。強い意志で臨む。（絶対に増やすと言う意志）、楽し

クラブアッセンブリー 続き

い例会にする。楽しい同好会がある。新会員の活躍の場を増やす。

加賀ガバナーエレクトの想い

「地区は、クラブあつての地区。クラブは、会員あつてのクラブ。クラブを活性化するには、増強である。皆が本気になって計画を立てて夢に向かって進んで行って欲しい。せっかく増強しても直ぐに辞めて行くようでは、駄目。情報委員長には、新会員の教育をしっかりとって欲しい。」

- ・何故増やすのか？
- ⇒ 世界平和を目指す！この優れた団体は、他には無い！



次回例会のご案内

第1491回 例会 5月15日（水）
卓話（11）橋本めぐみ講師
100万\$
担当者：竹村会員、小泉会員

会報・広報 4月担当 小泉 宣昭